

時々痛くなる程度だし、
まだ病院に行かなくても平気ですよね。



いいえ、要注意です。
ひざに痛みや
違和感を感じたら、
早めに整形外科へ。



監修：東邦大学名誉教授
勝呂 徹先生

早期の正しい診断・適切な治療が大切

中高年のひざの痛みの多くは、ひざ関節の軟骨がすり減ることによって炎症と痛みが生じる「変形性ひざ関節症」という病気が原因です。初期症状は、立ち上がりや歩き始めにひざに一時的な痛みや違和感を感じる程度です。この段階であればいろいろな治療法があり、整形外科で適切な治療を受けることで軽症のうちに病気の進行を抑えることが可能です。しかしひざ科学研究所の調査※によると、ひざに痛みを感じる人の半数以上が、「病院に行くほどでもない」という自己判断で病院を受診していません。さらに受診を検討するのは、「歩くのがつらくなったら」「痛みが今よりひどくなったら」という回答が多数を占めました。これらは大きな誤解です。放っておいて痛みや変形がひどくなると、人工ひざ関節置換術などの手術が必要となります。もしひざに痛みや違和感を感じることがあるなら一度、整形外科でひざのメディカルチェックを受けましょう。調査※でも、ひざの痛みが原因で病院を受診した人の約7割が、他の人に勧める対処法として「病院に行くこと」と答えています。健康なひざで毎日をイキイキと過ごしていくためにも、早期の正しい診断・適切な治療が大切です。

※インターネットによるアンケート調査。対象は40~79歳の男女1,000名。期間は2012年4月27日~5月1日。

変形性ひざ関節症



ひざ科学研究所 研究員

治療法や予防法は？
WEBで専門家がやさしく解説

ひざ研

検索

ひざ科学研究所とは… 科研製薬(株)と生化学工業(株)が立ち上げた、ひざの痛みの予防や症状改善に貢献するプロジェクトです。「ひざの痛みを解き明かす」をテーマに、理系女子大生コミュニティ「凜」のメンバーがひざの痛みについて取材レポート。専門家の解説を交えながら役立つ情報を発信していきます。



2月22日は
ひざイキイキの日

「ひざ」は英語でknee(ニー)、ひざの健康を維持して元気な生活を送れるようにとの願いを込めて制定。

あなたの大切な人に贈りませんか？
「ひざ思いやりBOOK」
プレゼント

WEBサイトから無料ダウンロードできます

